

対象	小学校 5 学年以上
教科	国語科・特別活動
該当 単元	<p>小学 5 年 (その①)</p> <p>「言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和語、漢語、 <div style="text-align: right;">外来語</div> 朝の会・帰りの会 ・ 先生の話 (講話) <div style="text-align: right;">など</div>
教科書	光村図書等
掲載日	2019. 4. 7. 朝刊 12 版 35 面

【活用にあたって】

元号について考えるには今年が絶好の機会だと思います。国語の指導要領には「我が国の言語文化に関する事項」が示されています。その中に「語句の由来などに関心をもつとともに時間の経過による言葉の変化や世代の違いによる言葉の違いに気づき・・・」とあります。

「令和」に込められた願いは話題を呼び、書店には万葉集のコーナーが設置され人気を博しているようです。国書から選ばれた元号という点からも「和語・漢語・外来語」の単元で取り上げ、学びを広げてみるとよいと思います。

「書く」という側面からのワークシートですが、「話す」という側面からのワークシートも98に用意しました。併せて活用ください。

解答例

問1：令の書き出しの「^」の部分は、広げすぎても、狭すぎても、バランスが悪くなるので、そこは気を付ける。

問2：三画目が「一」「、」の場合と、四・五画目が「マ」「ア」の場合の6通りの組み合わせ

問3：矢野さんが口をまあるく困む意図などに関する感想や、自分なりの考えが書けているとよいと思います。